

福井県越前市
坂口

夢

navi

さかのくち

あなたと私の心の通信

冬号

vol.91 (通算108号) 令和5年2月15日

又遊

どまの どんと祭

坂口地区では年明け最初に開催される冬の祭典、『又遊まつり・どんと祭り』今年も賑やかに行われました。

今年は一月中旬まで積雪がなかったため、雪を運んでの土台作りから始まり、新春開運くじまきで使用するくじ作りなど、地区民の健康や安全を願いながら準備いたしました。

当日は消防団や自警消防隊による一斉放水、ほやっ亭の出店、神事とんど焼きが行われ、大盛況の中無事に終了しました。

寒い中、各種団体の皆様には、準備・運営に協力して頂き、ありがとうございます。

今年一年、坂口の皆様にとって素晴らしい年でありますように。



環境部会

10月12日(水)

コウノトリが舞い降りる田んぼづくり

10月7日(金) 予定の稲刈りが雨で順延となり14日(金)に実施するはずが8日~11日の間に稲穂を鹿に食べられてしまいました。

12日(水)、仁木部会長や部員の方々と稲架を撤収し稲穂の稲株を刈り取りました。一部浸水の部分は辛うじて残っており、仁木部会長に脱穀と乾燥をお願いし、わずかですが「祝い餅」(3月)として子ども達へ送る予定です。

「次年度は電気柵で囲まなあかな」、「電気を通さんでも線だけでも効果あるやろ」とこの被害を前向きにとらえ対策に活かしていきたいと思えます。



来年の豊作を願って草取り作業です

坂口地区 スポーツ協会

ボウリング大会

12月10日(土)

今年も恒例のボウリング大会を開催しました。感染対策として、1レーン3人まで、となりの席とは透明なシートで区切られているなかでの大会となりました。初めてボウリングをする参加者もおられました。ぜひ来年も参加したいと楽しまれていました。自己ベストスコア更新を目標に真剣に投球する方や、久しぶりに体を動かすといった方など、人それぞれの楽しい時間となりました。



ストライク目指してエイ!!



冬季スポーツ大会 1月15日(日)

坂口小学校体育館で冬季スポーツ大会を開催しました。インフルエンザも流行りだしてきた時期でしたが、皆様のご協力のおかげで3年ぶりに開催することができました。どんど祭のくじ撒きとコラボ開催ということもあり、たくさんの方が参加され、小さい子どもからお年寄りの方まで誰でもできる5種類の競技を楽しみました。

的を狙ってみんな頑張ってくださいね



区長会

防災訓練 11月6日(日)

11月6日の朝8時より防災訓練の第1部を行いました。今回は地区内全域で大雨による土砂災害を想定し各町内で一時避難をし、坂口公民館に本部を立ち上げ、地区内の巡回と各町内の人数やけがの有無・災害状況を確認しました。各町内で連絡係が決まっておらず連絡が遅いなどの問題点があり、来年への課題と成りました。8時半からは、原子力防災訓練の屋内避難も行いました。



ハザードマップをしっかりと確認しましょう

第2部は、9時半より各町内の代表で坂口公民館の講堂にて行いました。最初に市の福祉課による防災スカーフの説明があり、障害者や支援希望者が身に付ける物で、これを見たら声を掛けて支援をして欲しいとの事でした。続いて、防災危機管理課による映像による水害と土砂災害の説明があり、「配布されたマップが見にくいので何とかして欲しい」と意見や質問が出ていました。最後にエコビレッジに有る災害用の発電機など備品と非常食などの備蓄備品を確認して無事訓練終了となりました。

福祉部会

地域で支え合い
助け合い

福祉部会では、「冬場の見守り活動」として、中学生からの年賀状に添えて、貼るカイロと飴等を高齢者世帯に届けました。冬場は火災が多く発生するため、防火の声掛けも行いました。今年も、お身体を大切にお過ごしください。



暖かくしてお過ごしください

ここを込めて書きました

さかのくち 活性化協議会だより



「農山漁村振興交付金」事業終了後5年は活動継続するための「さかのくち活性化協議会」事業。「ドジョウすくいとドジョウウピづくり」(10/1)、「坂口どじょうレストラン」(10/8・11/19)、「新年を手づくりで迎えましょう」(12/24)を開催しました。「ドジョウすくい」に参加された家族から「子どもが魚が好きでドジョウにも興味を持っていた。ドジョウが泥の中から顔を出したりもぐったりするのを見たがっていたのでやっと体験でき良かった」との感想を頂きました。

「コウノトリが舞い降りる里」を目指しての取り組みですが、生物多様性・食物連鎖・外来種問題・里山保全などを考える糸口として続けています。「どじょうすくい」の体験が何かに繋がっていく可能性があると思うと坂口の自然環境を守る事は大事だと思います。



ドジョウと地元の食材を使った料理とスイーツ



隠れているドジョウを見つけられるかな



ドジョウは泥の中に潜んでいることが多いですよ

白山駐在所からのお知らせ

冬期間の運転に注意

- 注意1** 屋根雪を落として走りましょう
- 注意2** ブラックアイス(濡れた路面がスケートリンクのように凍結している状態)
- 注意3** トンネル出口、すれ違い時

冬期間はブラックアイスが発生します。特に気温の下がる早朝・深夜や山間の日陰道路で発生しやすいので十分気をつけて下さい。また、トンネル出口付近では減速して、道路状況の変化に対応できるようにしましょう。車間距離を十分取ることで、無理せず停車して対向車が通り過ぎるのを待つことも重要です。

越前警察署 ☎0778-24-0110



日島連福井県支部との共催

コロナ禍の中、坂口エコメイト（坂口校生）との環境学習が難しい状況でしたが、今回開催することができました。1・2年生とは耕作放棄地をピオトープにする前と後の生き物の違いを知る観察会を実施しました。3・4年生とは平成20年から3年間植樹した“坂口の森づくり”（スキー場跡）で木の名前調べや野鳥のための巣箱・餌台づくりを行いました。環境学習は自然活動や体験を通して知っていくことが大事です。今後も坂口の子ども達と環境学習を進めていきたいと思ひます。

10月30日(日)

里山スクール

「親子で考えよう～脱炭素ってなに?～」

村田気象予報士
手作りの実験装置

村田気象予報士をお迎えて開催しました。

実験も取り入れながら、分かりやすく地球温暖化について説明していただいたので、なぜ“地球温暖化防止”や“脱炭素”が重要なのかを知っていただけたと思ひます。



12月18日(日)

里山スクール

「しめ飾りをつくりましょう」

コロナ感染拡大防止のため午前・午後で実施しました。例年しめ飾りはリピーターの方が多し中、初めて参加される方もあり、紙垂（しで）や熨斗（のし）づくりに四苦八苦されながらも出来上がったしめ飾りに「やっぱり手作りいいわね～」と満足されていました。



シリーズ 坂口ことば

連載 その69

触覚に関する方言 その3

触覚に関する方言の最後として、今回は共通語の「つるつる」「すべすべ」「ぬるぬる」「ざらざら」にあたる言い方を見ていきます。

「つるつる」は坂口でもツルツルです。「凍った雪道がツルツルしてる」のように言ひます。ツルツルのほかにテカテカもあります。冬に雪道が踏み固められて滑りやすい状態のほか、物の表面がなめらかで光沢を帯びている様子も言ひます。

「すべすべ」の状態はスベスベともツルツルとも言ひます。スベスベよりもツルツルの方がより触った感じが滑らかということになるでしょうか。

「ぬるぬる」は坂口でもヌルヌルです。「ざらざら」な感じはザラザラやジャリジャリです。「床、砂でザラザラ／ジャリジャリしてる」と言ひました。



(加藤和夫
金沢大学名誉教授)

山岡 真一郎さん
(中津原町)
昭和50年生 48歳



今年も健康に気をつけて元気な1年にしていきたいです。世の中が平和になりますように。

田中 瑛太さん
(勾当原町)
平成23年生 12歳



今年は何男です。僕は目標が二つあります。好きなサッカーを、一生懸命がんばることとまわりの人が喜んでくれるように笑いを届けることです。何でも、一生懸命がんばって、去年より、良い年になるようにしたいです。



三輪 俊明さん 昭和38年生 60歳
観喜子さん 昭和50年生 48歳
真子さん 平成11年生 24歳
(中津原町)

家族みんな無事に新年を迎えることができました。ふたご子供たちは県外に住んでいますので、久しぶりに家族そろってお正月を迎えられたことに、幸せを感じます。

子供たちの幸せを祈りつつ、日々感謝を忘れずにすごしていきたいと思ひます。

川端 良奈さん
(勾当原町)
平成23年生 12歳



私の新年の抱負は、下級生のお手本になるような人になることです。

今年は何年生になるので、最高学年としてきちんとした行動をしたいと思ひます。そして、今年も元気で楽しい一年にしたいです。

川端 吉秋さん (勾当原町)
昭和26年生 72歳

自分の子供、孫たち、町内の若い人達との交流に現在楽しく過ごしています。農作業は大変ですが、近所の人達も含め色々協力していただきガンバッテいます。

むずかしい顔してすごすよりも、おかあちゃんとも仲よく健康で毎日を送れたらと思ひます。

中野 雅子さん
(湯谷町)
昭和38年生 60歳



ここ近年はコロナで外に出る機会も少なくなり、運動不足になっています。還暦を迎える事で体力の衰えを感じてしまひそうです。

今年は何になったら外で太陽の光を浴びながら「マレットゴルフ」で体力作りとリフレッシュして、楽しく過ごしていきたいと思ひます。



小泉 茂生さん (中津原町)
昭和26年生 72歳

今年は何回目の年男になります。なかなかコロナがおさまらないなかですが、今年は何さざ年なので、少しでも元気に飛びはねていきたいと思ひます。コロナの終息を願って七回目の年男に元気にむかえたいものです。

ましまし(年)生まれにーハッピー

坂口公民館より

防災学習(合宿通学事業) 11月20日(日)

災害の時は任せて!



坂口校19名(1年~中1年)が参加し、人的災害や自然災害での行動や対応について学びました。今年度は坂口分団による放水操作の見学と消防車両の乗車体験に、中消防署消防士からの防災についての話と、水消火器・煙ハウス体験。そして河端美嘉氏(防災士)による防災グッズなど非常時の対応や備えについてのクイズ学び、簡単時短「即食」を作りました。

地域で災害が起こった時に対応してくれる団体や消防署の方々の活動を知り、自分ができる行動について学ぶことが出来ました。ご協力いただいた坂口分団の皆さん、ありがとうございました。



親子クリスマス会・3歳児虫歯の無い子表彰



クリスマス作品を手にメリークリスマス★

12月4日(日)

乳幼児から中学生、保護者等57名が参加し、今年度も賑やかに開催いたしました。

上坂千枝美氏の穏やかな語りの

「絵本の読み聞かせ」、松ぼっくりや木片でつくる「クリスマス工作」を楽しみました。色とりどりの材料を選びながら、個性あふれる素敵な作品が出来上がりました。

今回は中学生が企画・準備・説明・進行して「しりとりにクイズ」と「フォトスポット」を行いました。和気あいあいとした中、大変盛り上がりました。最後は「形合わせゲーム」をしたあとサンタさんからプレゼントをもらって終了しました。女性会や中学生の協力で、笑顔と笑い声の絶えない幸せな時間になりました。ありがとうございました。



これからも良い歯だね♪

坂口公民館 改修工事について

令和5年度、坂口公民館の機能向上改修工事が行われます。工事期間は、令和5年6月から半年間程度のご予定です。

工事期間中は、坂口公民館の使用は出来なくなります。坂口診療所は、仮診療所として休園している坂口幼稚園で診療を行う予定です。



何かとご不便をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

夢一輪

現在、地球温暖化が喫緊の問題となっている。地球の環境には臨界点なるものがあり、温暖化が進んでいくうちに、ある地点に達すると地球環境の再生能力が失われ、生態系が連鎖的に崩壊してしまうという。今までこの臨界点はずっと先のことだと考えられていたのであるが、実際には、もうすでに臨界点に差し掛かっているようだ。現在、世界中で環境問題について様々に議論されているが、私が思うに、結局のところ地球上に存在する人間の数が多すぎるのである。少子化という何とかと問題視されがちだが、地球にとってこれ以上に良いことはないのである。つまり、今の地球に必要なのは坂口のような場所なのである。坂口は一般的には、過疎が進み、仕事もなく、若い人たちは都会に憧れてみんな出ていってしまう限界集落と思われるかもしれない。コンビニはなく、数台の自動販売機があるだけである。しかし、現在の地球にとって必要なのはまさにこの坂口である。時代に取り残され過ぎた結果、時代の最先端になってしまった。今こそ「坂口」を「SAKAGUCHI」の表記にして、人類の理想郷として世界の国々をリードしていきたいものである。これが私の夢一輪である。

K.F

おくやみ

ご冥福をお祈りいたします。

田本木 久雄さん (88歳) 中津原町 R5・1・5
谷川 治さん (83歳) 下別所町 R5・1・23

2~5月

坂口公民館・エコビレッジ交流センター行事予定

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 2月18日(土) 昔の暮らしのあれこれ② | 3月18日(土) 講演会
「森は海の恋人」(仮) |
| 2月19日(日) ふるさとを考えるつどい | |
| 3月2日(木) 配食サービス④
(80歳以上の方対象) | 4月9日(日) 里山の春を見つけよう |
| | 4月22日(土) きれいに撮ろう里山風景 |
| 3月5日(日) 放課後子ども教室
(木育教室) | 4月23日(日) 地区整備事業 |
| | 4月29日(土) イモリを見つけよう |
| 3月12日(日) 放課後子ども教室
(木工体験) | 5月13日(土) 新緑の里山ウォーク |
| | 5月21日(日) アースディエちぜん2023 |

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止・変更の場合があります。

坂口地区の現状

現在380人 132世帯
昨年393人 134世帯
購読会員33名(2月1日現在)

原稿やメール投稿は
こちらからどうぞ♪



【発行】坂口地区うららの町づくり振興会
坂口公民館
【編集】さかのくち広報委員会
〒915-1225 越前市湯谷町24-18-1
坂口公民館内
TEL・FAX : 0778 (28) 1046
【E-mail】振興会 : urara1046@gmail.com
公民館 : sakaguchi_ko@city.echizen.lg.jp
【印刷】(株)ウェブセンターホープ

新年おめでとうございます

坂口地区うららの町づくり振興会会長 山岡 登志男

一月十五日は坂口地区冬遊まつり・どんど祭を開催することができました。多くの参加者のもと、旧年のお礼焼きに始まり、冬季スポーツ大会と地区住民皆様笑顔にて参加して頂けたと思います。

いまだコロナ流行より抜け出せませんが、令和五年度は移動支援対策車の導入により、お年寄りの方優先にて玄関から玄関まで送迎し、スーパー・病院等に行き、心の健康づくりを実行していきますので地区民の深いご理解を宜しくお願い申し上げます。

昨年十一月は福祉活動実行のため、十二名の有志が集まり、国交省認定講習会を受けられ全員合格しております。サポートさかぐち協力会員も補助的活動として講習会に参加していただき、移動車に乗っていただく事になり感謝しております。

坂口地区水田対策としては、農地集団化を勧めることにより田んぼダムができ、安定した水の確保、米作りが出来るようになります。水田風景がより美しくなりコウノトリ等が舞い飛ぶ様になるでしょう。

うさぎ年。あわてあず、あせらず、躰に気を付けて良い年になる様お祈り申し上げます。



受賞おめでとうございます



加藤 富枝さん

福井県県民社会貢献活動
功労者知事表彰



グループ山川田

南越清掃組合
清掃功労者表彰

祝 20歳おめでとうございます

小泉省二さん (中津原町)

この度、無事成人を迎えることができ嬉しく思っています。坂口分校を卒業して五年ほど経とうとしています。僕は丹南高校に入学し、坂口の方々の優しさに甘えてきたことを痛感しました。それでも何とか良き友人や先生に恵まれ卒業し就職することができました。毎日、楽ではないですが、充実した日々を送ることができています。僕をここまで大きく育ててくれた家族、友人、先生方、地域の方にはたくさんの感謝があります。本当にありがとうございます。新成人の五人をこれからも温かく見守って下さると嬉しいです。

安田 桃香さん (中津原町)

このたびは、無事成人を迎えることができ嬉しく思っています。ここまで支えてくれた家族やお世話になった先生方、地域の方々に感謝し、頑張っていたいと思います。あと二年は大学生として学業やアルバイト、友達との時間を大切にしていこうと思います。将来を見据えた行動が出来る大人になりたいと思います。色んな人との出会いを大事に、周りの人や自分も幸せな人生を送れるような環境を作っていける人になり、これからの人生を楽しんでいこうと思います。

坂東 征弥さん (勾当原町)

この度は無事成人を迎えることができました。自分が成人を迎えられたのは、家族はもちろん、友達や先生などたくさんの方々に支えてもらったからであり感謝しています。今日から晴れて大人の仲間入りですが、まだまだ未熟な自分ですが、今まで助けてもらった分、少しでも社会に恩返しできればと思います。職場でもこれまでお世話になった上司の方々に感謝の気持ちを忘れず、仕事に励んでいきたいと思っています。これからは、成人としての自覚を常に忘れず、責任ある行動と人への思いやる優しい心を持って社会に貢献していきたいと思っています。

坂東 小夏さん (勾当原町)

この度、無事成人を迎えることができました。今まで支えてくださった全ての皆様に、感謝いたします。本当にありがとうございます。私には夢があり、今はそれを叶えるために坂口を離れ頑張っています。ですが、長い間に共に過ごした仲間とこの故郷を私は誇りに思っています。成人し、今までも現実は厳しくなっていくと思いますが、いままでも受けたたくさんの愛を忘れずに、そして自分が後悔しない人生にします。

藤井 楓さん (湯谷町)

この度、二十歳という節目の年を迎えることができ、嬉しく思います。思い出が溢れている「大人」の姿は、まだまだほど遠いですが、たくさんの方とこれから出会う、たくさん学んで、自分らしさを忘れず、胸をはれる大人になれたらと思います。そして、これまで支えてくれた家族、友人、先生方、地域の方々に恩返しできるように、毎日成長していきたいです。



國久 繁雄先生 (坂口校校長)

楓さん、小夏さん、征弥さん、省二さん、桃香さん、二十歳を迎えたみんなの目に故郷坂口はどのように映っていますか。小学生の時福川した田んぼ、中学生の時観察したジオトープなど思い出の場所は、当時の自分たちの姿やしゃべり声、吹く風なども同時に思い出させてくれるでしょう。二十歳の今の生活の源になっているのが、生まれ育った坂口の地なのでしょう。地元みんながみなさんを応援してくれています。私も夢に向かって進む五人に声援を送り続けます。成人おめでとう。

島山 知恵先生 (中学校担任)

二十歳を迎えたみなさん、おめでとうございます！お元気でですか？以前は「十年一昔」といわれていましたが、現代の様々な事からの変化のめまぐるしさは「五年一昔」かなんなら「三年一昔」といってもよいくらいな気がしています。中学生だったみなさんに「これからの日本や世界は君たちがつくっていく。だから、しっかり学んでほしい。」というようなことを言っていたと思いますが、今もその思いは同じです。様々な困難に立ち向かい、希望の道を切り開いていく。そんな五人でいてほしい。そして、それが出来る五人だと思っています。そのためには、まず元気で。そして、感謝と笑顔で忘れずに。みなさんの幸せを心から祈っています。素敵に成長したみなさんと、いつか笑顔で会える日がくると思います。それでは、また。See you!

山崎 智之先生 (小学校担任)

新成人おめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。初めて会ったのが、五人が四年生のとき。そして卒業までの三年間で多くの良さを発見しました。みんなで仲良く協力できること、家族や兄弟を大切に思っていること、どんなことも笑顔で乗り越えること、挙げていけばまだまだ出てきます。自分の良さって何だろう、と迷うこともあるかもしれませんが、そんなときは坂口小学校を思い出してください。そして、夢に向かってこれからはがんばれ！

山岸 香織先生 (小学校担任)

新成人おめでとうございます。一緒に勉強したり、遠足に行ったり、バスケットボールや鉄棒で遊んだり、たくさんの楽しかった思い出がよみがえります。長い長いこれからの人生、できること信じてやりたことにチャレンジしてください。失敗を恐れず、長い長いこのほうが、人生の大失敗だと思っています。応援しています。頑張ってくださいね。

長谷川 有里先生 (小学校担任)

二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。坂口小学校で皆さんとたわいもない話をして笑ったり、一緒に遊んだりしたことが懐かしく思い出されます。二十歳になり、それぞれの道に進んでいる真ただ中だと思います。その道中は、決して楽しいことばかりではないので、失敗は成功のチャンスです。チャンスはいろいろな方法で自分のものになります。自分の気持ちを切り替えたり、もちろん周りの人の助けをもらったりしながら、たくさんのチャンスに可能性を自分の力にしてください。そして、感謝の気持ちを持って、ますますステキな人へと成長してほしいと思います。いつもあたたかい言葉をかけ合っていた皆さんの夢が叶うことを楽しみに、これからも応援しています。

門丹生 さおりさん (小学校事務員)

新成人おめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。皆さんと一緒に坂口で過ごした日の事を、鮮明に思い出されます。人懐っこい笑顔を見たくて足繁く皆さんの教室に通っていました(笑)。他にはない素晴らしい環境で育った皆さんが本当にかわいかったです。そんな皆さんが新成人。これからの長い人生、今までの人との出会い、繋がりを大切に誰からも愛される大人になってください。坂口で育った皆さんなら必ずできるはずです。

青木 みな子さん (坂口校調理員)

新成人おめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。皆さんが卒業して、早五年が経ったのです。いつも給食を残さずたくさん食べてくれた事や、「ご苦労様です。」と声をかけてくれた事、なかなか名前で呼ばれる事のない調理員ですが「青木さん」と呼んでもらえた事、坂口での皆さんとの楽しい思い出がたくさんよみがえってきました。これからの長い人生、辛い事や苦しい事があったとしても負けないで、坂口つ子らしく素直で元気なみんなになって下さい。

